広島研修

原爆と平和

弥富中学校　吉田　貴哉

【原子爆弾】

アメリカは戦争を早く終わらせるために原爆を使用しました。広島に連合国軍兵士の捕虜収容所がないと思っていたからです。原爆が投下され、爆発の瞬間、強烈な放射線などが放射されて周りの温度は三千～四千度だったそうです。当時、広島市には約35万人が暮らしていましたが、14万人が死亡してしまったそうです。熱線、爆風、放射線の三つが大きな被害をもたらしました。

広島には、昭和20年8月6日午前8時15分、長崎には昭和20年8月9日午前11時2分にアメリカ軍が「原爆」を投下しました。

【原爆ドーム】

原爆ドーム、英語で「ATOMIC BOMB DOME」は、元産業奨励館と言い、広島市の名所の一つでした。

被爆したとき、とても爆心地に近いのに崩れずに残ったのがすごいと思いました。資料館でCGの映像を見ると、周りはほぼがれきしかない状態だったのに崩れず残ったからです。

そして実際に見て、だいぶボロボロで、がれきばかりで原爆のすさまじさを物語っているなと思いました。

【平和と戦争】

僕は「平和」と「戦争」は最も遠く離れているなと思いました。

戦争は人々を苦しめ、嫌な思いをさせるけれど、平和は人々を安心させてくれるものだと思ったからです。そして今でも世界のどこかで戦争は続いていて、人々が苦しんでいると思うので、今の世界に最も足りないのは「平和」だと思いました。

それだけ「平和」を達成することは簡単ではないと思いますが、でも絶対に達成しなくてはいけないことです。

今回広島研修を行って「戦争」「原爆」はもう、してはいけないと強く強く思いました。

未来へ繋げる

弥富中学校　伴野　咲蘭

【平和記念資料館】

原爆ドームを初めて見た時、戦争の恐ろしさを全身で感じました。丈夫なレンガと鉄骨でできていたにもかかわらず、あれだけ壊れてしまったのを見て、原爆の威力を改めて知りました。墓地の周りは一段土が高くなっています。これは、死んだ人の骨などが、まだ残っている可能性があるそうです。一歩一歩、今の平和な国に感謝しながら歩きました。

平和記念公園は、原爆の被害を語り継ぎ、「平和を築いていかなければならない。」「もう二度とこのような事が起こってはいけない。」ということを伝えていく場所だと思います。

平和記念資料館には、戦時中の苦しみ、原爆での被害などが詳しく書かれていました。あまりにも残酷すぎて、直視することができませんでした。

【被爆ピアノの歴史】

原爆で被爆してしまったピアノについての話を聞いて、すごく悲しくなりました。戦争は、全てを奪っていったのだと思います。演奏、歌を聴いて、一番最初に思ったのは、被爆をしたピアノなのに、また音楽を取り戻せて良かったと思いました。原爆を知るピアノで、原爆の悲しみや怒りを全国に伝えることにより、平和を考えさせることができるので、被爆ピアノは、「平和を運ぶピアノ」だと思います。

【感想】

私は今回の広島研修を通して、戦争は、もう二度と起きてはいけないということを思いました。たくさんの人々の幸せ、命を奪い、平和を壊した核兵器は、平和な世界をつくるには不必要です。平和を自らの手で導くことは難しいと思います。なので、小さなことでも平和を心がけ、少しは我慢をすることも大切だと思います。

広島研修で学んだことを生かし、これからの毎日に感謝をしていきたいです。そして、平和な明るい未来に繋げて行きたいと思います。

弥富生まれの白文鳥「ぶんちゃん」活躍中!

昨年の5月15日に生後2週間で資料館にやってきました。まだ羽も生えそろわず、目もよく見えない小さなひな鳥でしたが、立派な手乗り文鳥に成長し、資料館のおもてなし職員として毎日、来館者と触れあっています。

今年5月に開催した1歳の誕生会には東京や大阪を始め各地から180人ほどが訪れ、盛大にお祝いしました。

8月2日には、「夏の安全なまちづくり県民運動」の啓発のため、蟹江警察署の「1日警察署“鳥”」を務めました。

弥富は白文鳥発祥の地です

弥富の文鳥生産は、江戸時代の終わりごろ、又八に嫁いできた八重さんが、それまで勤めていた武家屋敷から文鳥をもらってきたのが始まりです。その後、明治になって真っ白な文鳥が生まれ、飼育に改良を重ねて日本唯一の白文鳥の産地となっていきました。昭和50年頃をピークに2万羽以上が生産されましたが、海外から安い文鳥が輸入されたり、家庭で飼う人が減っていったため、弥富の文鳥生産は衰退していきました。しかし、全国に広がった弥富文鳥の愛好家の間では、弥富は今でも「文鳥の聖地」と言われています。

▲白文鳥発祥地碑(又八神明社)

重要文化財服部家住宅　服部家の観月会

国の重要文化財に指定されている服部家住宅で観月会を開催します。

と　き　9月22日(日)

ところ　服部家住宅(弥富市荷之上町石仏419)

▼プログラム　午後6時～　開場・見学会
　　午後7時～　雅楽演奏会(森津保存会)
▼料　　金　300円(小・中学生無料)
▼定　　員　50名
▼申込方法　9月7日(土)午前9時より電話にて申し込みください。
　　※未就学児はご入場いただけませんので、ご了承ください。

申・問 歴史民俗資料館(月・火曜日休館)　☎65－4355